

日本産業技術教育学会 第 63 回全国大会（千葉）

オンラインでの研究発表等について（第 1 報）

第 63 回全国大会（千葉）をオンライン開催するにあたって、以下のように実施を予定しています。まずは、第 1 報として、研究発表等で利用するシステムについて説明いたします。今後、これらのシステムの利用方法についても、情報提供していく予定です。

1. 研究発表

（1）口頭発表

口頭発表は、利用者の増加状況やユーザビリティの高さから、Web 会議サービス Zoom (<https://zoom.us/>) を採用します。発表内容ごとにあらかじめ編成したセッションごと（「材料加工」「電気」など）に、Zoom ミーティングを開きます。

各 Zoom ミーティングでは、座長による司会進行のもと、発表者が画面共有を利用し、研究内容を発表します。聴講者は、希望する Zoom ミーティングに、リアルタイムでのテレビ会議とテキストでのチャット機能を利用して参加します。

（2）ポスター発表

ポスター発表は、主にビジネス向けに開発されセキュリティに定評のある Slack (<https://slack.com/intl/ja-jp/>) とオンラインストレージ OneDrive を採用します。Slack では、チャンネルと呼ばれるスペースごとに、テキストによるメッセージの送受信とファイルの共有が可能です。本大会では、各ポスター発表にチャンネルを割り当て、そこでポスターの内容に対する質疑を行います。

発表者は、DL 不可に設定された指定の OneDrive 上に、ポスターのデータをあらかじめアップし、それを閲覧した聴講者の質疑に Slack のチャット機能を利用して対応します。Slack は、途中参加であっても、以前の議論をさかのぼって確認できるため、それまでの議論の流れを確認したり、重複する質疑を避けたりすることができます。聴講者は、あらかじめアップされたスライドを閲覧し、興味あるポスターのチャンネルに出入りし、質疑に参加します。

2. 社員総会・シンポジウム・分科会

（1）社員総会

社員総会は、代議員を対象に、資料を OneDrive 上に修正不可および閲覧専用で公開し、Zoom ミーティングを利用して実施します。ネットワークの不調を考慮し、委任状を事前に提出していただきます。

(2) シンポジウム

シンポジウムは、学会参加者向けの Zoom ミーティングと、YouTube Live でのストリーミング配信による公開を予定しています。

(3) 分科会

分科会は、分科会ごとに Zoom ミーティングによる実施を予定しています。

3. 情報交換会

本大会は、情報交換会も Zoom を利用したオンライン開催を予定しています。参加費は、無料なので、ぜひご参加ください。